

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月10日

都道府県知事  
(市長)

殿



提出者

住 所 白杵市大字吉小野383番の1

氏 名 J A うすきたまごファーム (株)

代表取締役 佐藤 正平

電話番号 092-65-2606

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	白杵農場
事業場の所在地	白杵市大字吉小野383番の1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	採卵鶏 20万羽
③ 従業員数	30名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 ①自ら堆肥化 ②処理業者に委託して、堆肥として再資源化 動物の死体 ①自ら堆肥化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 生産部長 (廃棄物統括責任者) ・ 廃棄物処理方針決定 ・ 委託契約の締結 ・ 行政等の各種報告 農場長 ・ 産業廃棄物処理に関する各種事項の決定及び承認 ・ 産業廃棄物管理票の交付 堆肥センター長 ・ 産業廃棄物の処理 事務員 (廃棄物実務担当者) ・ 産業廃棄物管理票の管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	7,741 t	19 t
	(これまでに実施した取組) 冬場の鶏舎内の温度低下防止対策を行い、食下量の増加を防ぎ、排出量の低減に取り組んだ。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	7,212 t	15 t
	(今後実施する予定の取組) 飼養衛生及び環境管理を徹底して行い、食下量等をコントロールし、排出量の低減に取り組む。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	全処理委託量	376 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	376 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 糞尿処理用の施設、設備のメンテナンスを行い、処理能力の維持・向上に取り組んだ。		